

これからのまちづくりについて

～市政懇談会～

1月28日(月)市民会館、29日(火)鷺別公民館、30日(水)婦人センター、2月7日(木)登別温泉公民館の4カ所で『市政懇談会』（市主催）が行われました。

この懇談会は、例年行われている地区懇談会が市長の入院により中止としましたが、市から市民の皆さんにお知らせしなければならない内容があったため、市政懇談会に代えて開催したものです。

市からの情報提供は、『中期財政見通し』『登別温泉開湯150年』『北海道洞爺湖サミット』『市民自治推進委員会』『西胆振地域のまちづくり』について行いました。参加者からは、「洞爺湖サミットに関して情報が少ないので、早い機会に提供してほしい」「西胆振のまちづくりは、資料を出して、話し合う場を作って論議を深めていくべきだ」「登別温泉開湯150年は、町内会で別途予算を組み、みんなで盛り上げたいと思っています」など情報提供に対する質問や意見のほか、地域の要望などまちづくりに関するさまざまな懇談が行われました。



寒さを忘れて雪遊び

～サイパン中学生交流事業～



平成18年11月に友好都市提携同意書を締結したサイパン市の子どもたち11人と引率2人の13人が、2月1日(金)から6日(水)まで登別市を訪れました。

この訪問は、昨年6月に来日したサイパン市のトゥデラ市長が、子どもたちに雪を見せたいとの希望をかなえたもので、子どもたちは気温28度のサイパンを出発して来たにもかかわらず、マイナス気温の中、ふおれずと鉦山やカルルス温泉サンライバスキー場でのそり遊びに歓声を上げながら夢中になって遊んでいました。

サイパンの子どもたちは、ホームステイやホテルに宿泊しながら、テーマパークの見学や中学生との交流、パーティーなどに参加し、さっぽろ雪まつりも見学して元気に帰国していきました。

思いやりの心でいじめをなくそう

～思いやりの心を育てる人権教室～

1月30日(水)、幌別小学校で『思いやりの心を育てる人権教室』（札幌法務局室蘭支局、室蘭人権擁護委員協議会主催）が行われました。

この教室は、子どものうちから思いやりの心を持ってもらおうと、人権擁護委員を講師に迎え、幌別小学校の5年生を対象に行われました。

はじめに、いじめに関するアニメビデオを鑑賞。登場人物の気持ちや行動について、みんなで話し合いました。児童からは「いじめは良くない」「自分がいじめそうになったときは、一呼吸置いて考えてみます」などの感想が述べられました。

最後に、人権擁護キャラクターの人KENまもる君が登場して、児童らにプレゼントを渡し、みんなで記念写真を撮っていました。

